

ウッドクラフト & RS交歓キャンプ2023

実施報告書

時：2023年7月1日（土）・2日（日）

於：キャンプおおさか



CAMPSITE IMPROVEMENT TEAM
Improvement・Development・Symbiosis with Nature

We are Pioneer of Wood Craft・Scout Camp&Survival skills

1, 開催日時

令和5年7月1日(土) 13:00~2日(日) 13:30

2, 開催場所

キャンプおおさか(枚方市穂谷)

3, 日程

			整備チーム	ユース (RS会議・大学)
7月1日	9:00	スタッフ集合 サイト割り	会場設営・資材準備	集合 開会式 移動
	12:00	受付		
	12:30			
	13:00	開会式		
	13:30	プログラム開始 あずまや・南側エリア 里山整備(3:00)	第1サイト研修棟 刃物の手入れ1(1:30) 刃物の手入れ2(1:30)	第1サイト研修棟 テントの補修スキル1(1:30) テントの補修スキル2(1:30)
	16:30	夕食準備 夕食	第1サイト炊飯場・管理棟 研修棟	
	21:30	タベのプログラム 就寝		バイキングスタイル キャンプファイアー (第1サイト営火場)
7月2日	6:00	起床・洗面		
	8:00	朝礼		
	9:00	プログラム開始 パイオニアリング・刃物の手入れ・テントの補修スキル・フリータイム グラウンド・第1サイト研修棟		
	11:30	撤営 資材返納		
	13:00	閉会式		
		解散	評価会	閉会式・解散

4, 参加者

ローバースカウト

大阪連盟ローバス会議募集参加者 9人
 豊中第28団(大阪大学RS) 7人
 東大阪第7団(近畿大学RS) 16人 合計 32人

スタッフ 18人

ゲスト 4人

(西田コミッショナー、鈴木副理事長、平・水戸守 両理事)

総計 54人

5, キャンプとプログラムの進め方

このキャンプは、ローバースカウト各グループの野営と野営場整備チームの研修事業を協働して行うものであったため、参加グループ毎のプログラム・独自プログラム・全体プログラムにそれぞれ独立性を持たせて行った。

1) グループごとのプログラム

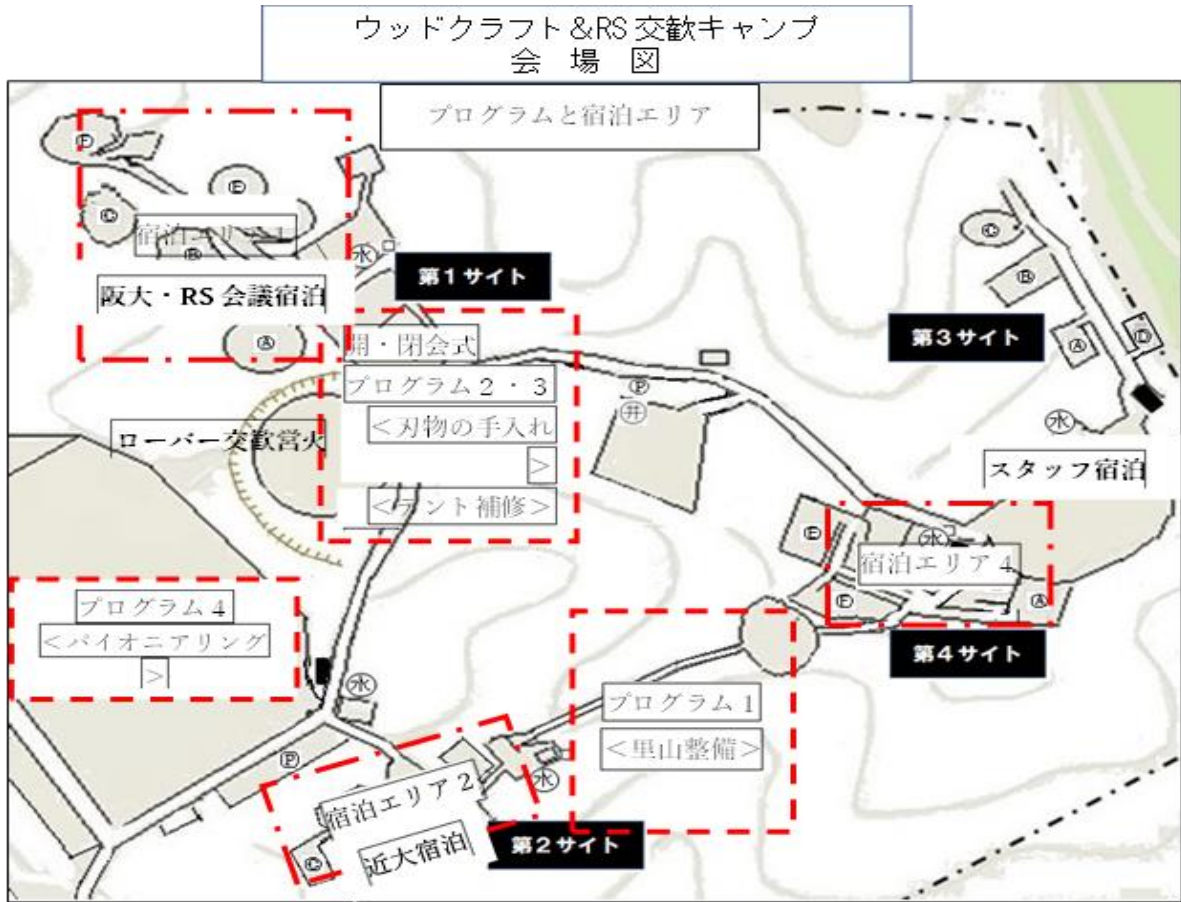
参加各グループは、野営生活と朝食をそれぞれ独自に行うため、野営地を各グループに配分し、野営生活と朝食を独立して行った。

配分した野営地

第1サイト・・・豊中第28団及び大阪連盟ローバース会議（16人）

第2サイト・・・東大阪第7団（16人）

第3サイト広場・・・スタッフ（18人）



2) 全体プログラム

研修プログラム

- ・プログラム1「里山整備」＜第1日目のみ＞

当麻 野営場整備チーム員をチーフに、山本 野営場整備チーム員をチーフ（森林ボランティア協会）を講師として、里山についてのレクチャーと整備の現場見学・チェンソーの体験を行った。

当日は雨天で危険回避のため、整備作業体験に山に分け入ることを取りやめ、講義・見学・チェンソー取り扱い体験とした。

- ・プログラム2「刃物の手入れ」

大阪連盟指導者委員 山田氏と野営場管理チーム員 田中氏を講師として、1日目2日目各2回計4回の講習を実施した。

準備された「砥道具セット」10台で、包丁や各自持参の刃物の研ぎと整備方法を実習した。

- ・プログラム3「テントのリペアー」

野営場整備チーム 横山副チーフを講師として、ドームテントのポールの修理・ショックコードの取り替え実習を行った。

- ・プログラム4「パイオニアリング」＜第2日目のみ＞

野営場整備チーム 宮本チーフ、榎本・今井チーム員などが講師となって、「ピラミッド塔」の組み立て体験を行った。

雨上がりの2日目、当初2時間半での完成は難しいと予想されたが、完成して資材準備から返納まで時間内に終わることができた。

開催日	7月1日(土) 13:30~16:30		7月2日(日) 9:00~11:30	
プログラム	里山整備	刃物・テント	刃物・テント	パイオニアリング
参加者	近大A(7人)	近大B(8人)	近大A(7人)	近大B(8人)
	RS会議(7人)	阪大(7人)	RS会議(7人)	阪大(7人)

交歓夕食会

全員で担当を分け、協力して調理した食材を、研修棟でバイキングスタイルで交流を楽しみ行えた。

この夕食会には、西田コミッショナー、平・水戸守両理事がゲスト参加し、森林ボランティア協会の斉藤氏も加わり、大いに盛り上がった。

調理した食材は、焼きそばと御飯が残ったが、調理担当の宍戸チーム員が翌日「そばめし」を作り、全て参加者の胃袋に収納された。

3) 独自プログラム<RSキャンプファイアー>

参加ローバースカウト全員によるRSキャンプファイアーは、食事の準備時間が少しオーバーした上、交歓夕食会が盛り上がったため、21時30分から開始された。

各グループから営火長やファイアーマスターなどの役割を決め運営された。各グループのスタンツやゲーム・歌で大いに盛り上がり、大阪ローバースの強い絆が結ばれ、霧雨や時折のあめを忘れるほどの盛り上がりであった。

6. 総括

7月10日(月) ローバー各グループ担当者と野営場整備チーム担当者ととの総括会議

<宮本・横山・馳澤、ローバース会議・阪大・近大各担当者の出席で開催>

参加者へのアンケート結果は

- ・半数程度の集計ではあるが、「非常に楽しかった」「研修内容は役立ちそう」「次回があれば参加したい」など総じて好評であった。
- ・参加者間の交流・交歓も有意義であったとの感想が大勢を占めた。

本事業の今後

各グループとも来年も同様の形式で開催してほしい、整備チームが事業計画すれば各グループとの年間プログラムに入れ、積極的に参加したいとの意向を代表から申し出られた。

その後日程調整の上チームとしての総括会議を行って事業を総括するが、事業直後の一応の総括と評価を記す。

安全・・・一番重要な安全については、事前グループを通じた注意喚起や注意事項の配付等の対策は講じたものの、参加者の意識とスタッフの気配り等によって、事故やけがなく無事終えることができた。

参加者満足度・・・参加者の表情、各プログラムへの取り組みの様子から判断して、一応の満足を得ていただいたと判断できる。どのプログラムにも参加者の積極性と好奇心が充分感じられ、有意義であったと自賛できる。

事業の進捗・・・主催者は、研修プログラムと食材準備のみで、各グループの自主性と協力によって推進され、事業はスムーズに進捗した。

評価・・・当初、野営場整備チームの「研修会」として計画したが、阪大の発団等があり、ローバースカウト向けの事業に方向を変えながら進めた。

チーム員は、教えることによって研修できるため、今後も相互研修として行っていくことが可能である。

ローバースカウト諸君への提供プログラムとして、要望があれば今後毎年の事業として計画することも可能である。

また、今回以外の研修プログラムを豊富に持てるよう研鑽・研究していきたい。

記録写真

開会式



協力者の皆さん



開始前



プログラム1 里山整備



プログラム2 刃物の手入れ



プログラム3 テントのリペアー



夕食会とキャンプファイアー



プログラム4 パイオニアリング



閉会式



閉会式後の集合写真